科目名	課題解決思考ＩA				
単位数	2 単位	時間数	30 時間	担当者	木村 浩昌
実施年度	2026 年度	実施時期	前期	担当者実務経験	AMFC.ABCCで一般教養20年
対象学科・学年	AI＆診療情報管理士科　1 年				
授業概要	学生が日常の事象に対して 1.「違和感(課題)」に気づく　2. 現代の豊富なツール（AI・ICT・情報検索等）を自然に活用する 3. その「課題を分析・考察」し、　4.「実践的」な「課題解決」を体験し 5. その力の「向上を図る」　6. それらを養成する基礎や習慣を身に着ける				
授業形態	選択・必須:	必須	主な授業形態　:	講義	

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○		○		問題発見力: 現状の中に潜む問題点に敏感に気付ける人材としたい
			◎		自発的行動力: 自ら課題を設定して自主的に問題解決に動き出す意識の養成
	○		◎		環境変化への対応力: 環境(医療技術・制度、時代思想・技術)の急激な変化を進んで探求できる
○	◎		◎	◎	AI活用力:AIを「補助的作業ツール」ではなく、思考支援パートナーとして活用できる力

テキスト・教材 参考図書: ネット接続PC

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	オリエンテーション　ICT・AI　使用法確認	「気付き」発見
2	講和（時代認識）　ツール使用再確認	「気付き」発見
3	講和	「気付き」発見
4	LLMの仕組み(第1章）視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
5	LLMの仕組み(第2章）視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
6	LLMの仕組み(第3章）視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
7	LLMの仕組み(第4章）視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
8	予備日（フリートーク）	「気付き」発見
9	LLMの仕組み(第5章）視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
10	LLMの仕組み(第6章）視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
11	LLMの仕組み(第7章）視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
12	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
13	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
14	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
15	予備日（フリートーク）	「気付き」発見

評価方法

宿題は「気付き」メモを毎日行う以外は原則として無い。毎授業で課題の提出を求めるが、それこそAIを使って授業時間内に終えられるように努力してほしい。その際の努力レベルや意欲は、「授業態度」のみならず、他の項目にも影響を及ぼす。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
通信（「気づき」提出）	○			◎		30 %
Teams課題(指定課題)	○	◎			○	30 %
GW課題(会議要約)	○	○			○	20 %
授業態度				◎		20 %

履修上の注意: 出席が2/3に満たない場合は単位取得は認めない

科目名	課題解決思考ＩＢ				
単位数	2 単位	時間数	30 時間	担当者	木村 浩昌
実施年度	2026 年度	実施時期	後期	担当者実務経験	AMFC.ABCCで一般教養20年
対象学科・学年	AI＆診療情報管理士科　1 年				
授業概要	学生が日常の事象に対して 1.「違和感(課題)」に気づく　2. 現代の豊富なツール（AI・ICT・情報検索等）を自然に活用する 3. その「課題を分析・考察」し、　4.「実践的」な「課題解決」を体験し 5. その力の「向上を図る」　6. それらを養成する基礎や習慣を身に着ける				
授業形態	選択・必須:	必須	主な授業形態　：	講義	

学習目標（到達目標）	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○		○		問題発見力: 現状の中に潜む問題点に敏感に気付ける人材としたい
				◎		自発的行動力: 自ら課題を設定して自主的に問題解決に動き出す意識の養成
		○		◎		環境変化への対応力: 環境(医療技術・制度、時代思想・技術)の急激な変化を進んで探求できる
	○	◎		◎	◎	AI活用力:AIを「補助的作業ツール」ではなく、思考支援パートナーとして活用できる力

テキスト・教材 参考図書	ネット接続PC

授業計画	回数	授業項目・内容	授業外学修指示
	1	全地球史アトラス(1)視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	2	全地球史アトラス(2)視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	3	全地球史アトラス(3)視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	4	全地球史アトラス(4)視聴解説＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	5	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	6	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	7	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	8	予備日（フリートーク）	「気付き」発見
	9	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	10	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	11	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	12	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	13	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	14	ビジネス図書紹介＆要約提出/気付きGW&発表	「気付き」発見
	15	予備日（フリートーク）	

評価方法

宿題は「気付き」メモを毎日行う以外は原則として無い。毎授業で課題の提出を求めるが、それこそAIを使って授業時間内に終えられるように努力してほしい。その際の努力レベルや意欲は、「授業態度」のみならず、他の項目にも影響を及ぼす。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
通信（「気づき」提出）	○			◎		30 %
Teams課題(指定課題)	○	◎			○	30 %
GW課題(会議要約)	○	○			○	20 %
授業態度				◎		20 %

履修上の注意	出席が2/3に満たない場合は単位取得は認めない

科目名	課題解決思考演習				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60	担当者	友重文徳／豆田和也
実施年度	2026	実施時期	通年	担当者実務経験	学校責任者として3年勤務/学校事務責任者として1年勤務
対象学科・学年	AI&診療情報管理士科　2年生				
授業概要	本授業は1年次の基礎を土台に、医療現場の実務課題を構造的に解決する力を養う。病院実習での体験を起点に、現場の不条理やボトルネックに対する「本質的な問い」を自ら定義する。 教員主導の課題を脱し、学生同士の「壁打ち」を通じて思考を深化。医療安全や多職種連携の制約を組み込み、データと人の動きが整合した「実装可能な業務再設計（BPR）」を構築する。客観的根拠で論証するプロセスを繰り返し、現場を動かす「実務の実装者」としての能力を磨く				
授業形式	講義:　○	演習:　△	実習:	実技:	※　主たる方法:○　その他:△

学習目標（到達目標）

言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
○	○				病院実習等の現場で得た実体験から、漠然とした違和感を「解決すべき本質な問い」として自ら再定義し、論理的に説明できる。
○	○				医療安全や多職種連携の制約を論理的条件として組み込み、データと人の動きが整合した「実装可能な業務フロー」を設計できる。
○	○				提案する解決策がもたらす成果を、客観的根拠や定量的指標（KPI）を用いて、他者が納得できる形で論理的に提案できる。

テキスト・教材 参考図書	配布資料

授業計画

回数	授業項目・内容	授業外学修指示
1	オリエンテーション	
2	ワーク①:導入	
3	ワーク①	
4	ワーク①	
5	ワーク①:まとめ	
6	ワーク②:導入	
7	ワーク②	
8	ワーク②	
9	ワーク②:まとめ	
10	ワーク③:導入	
11	ワーク③	
12	ワーク③	
13	ワーク③:まとめ	
14	前期まとめ	
15	前期まとめ	
16	前期の振り返りと後期授業のオリエンテーション	
17	ワーク④:導入	
18	ワーク④	
19	ワーク④	
20	ワーク④:まとめ	
21	ワーク⑤:導入	
22	ワーク⑤	
23	ワーク⑤	
24	ワーク⑤:まとめ	

	25	ワーク⑥：導入
	26	ワーク⑥
	27	ワーク⑥
	28	ワーク⑥：まとめ
	29	後期まとめ
	30	後期まとめ

評価方法

本授業の評価は、提出される課題・レポートの結果を100%として判定する。評価にあたっては、病院実習等の実体験から現場の構造的課題を特定し、解決すべき「本質的な問い」を自ら定義できているかを重視する。また、医療安全や多職種連携の制約を論理的条件として組み込み、データと人の動きが整合した「実装可能な業務再設計（BPR）」が構築できているか、およびその成果を数値指標（KPI）等の客観的根拠に基づき論理的に提案できているかを評価の指標とする。一定の出席要件を満たし、総合評価が60%以上で単位を認定する。

	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
課題・レポート	○					100%

履修上の注意

出席が2/3に満たない場合は、単位取得は認めない。